

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2000-103816(P2000-103816A)

【公開日】平成12年4月11日(2000.4.11)

【出願番号】特願平11-215836

【国際特許分類第7版】

C 0 8 F 20/24

C 0 7 C 67/08

C 0 7 C 67/14

C 0 7 C 69/65

C 0 9 K 3/18

【F I】

C 0 8 F 20/24

C 0 7 C 67/08

C 0 7 C 67/14

C 0 7 C 69/65

C 0 9 K 3/18 102

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月30日(2004.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下式1で表される含フッ素化合物。

ただし、式中の記号は以下の意味を示す。

R<sup>1</sup>：水素原子またはメチル基。

R<sup>2</sup>：低級アルキル基。

R<sup>f</sup>：炭素数3～20のポリフルオロアルキル基。

【化1】



【請求項2】

下式2で表される含フッ素アルコール化合物と下式3で表される(メタ)アクリル酸、または、下式2で表される含フッ素アルコール化合物と下式4で表される(メタ)アクリル酸ハライド、とを反応させることを特徴とする請求項1に記載の含フッ素化合物の製造方法。

ただし、式中の記号は以下の意味を示す。

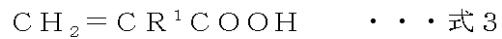
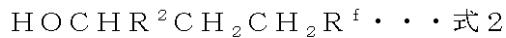
R<sup>1</sup>：水素原子またはメチル基。

R<sup>2</sup>：低級アルキル基。

R<sup>f</sup>：炭素数3～20のポリフルオロアルキル基。

X：ハロゲン原子。

## 【化2】



## 【請求項3】

下式1で表される化合物の重合単位( $a^1$ )のみからなる重合体、または、下式1で表される化合物の重合単位( $a^1$ )と下式1で表される化合物以外の重合性单量体の重合単位( $a^2$ )からなる重合体であり、該重合体中の重合単位( $a^1$ )の割合が5~100重量%であり、かつ、該重合体の重量平均分子量が $1 \times 10^4 \sim 2 \times 10^6$ であることを特徴とする含フッ素重合体。

ただし、式中の記号は以下の意味を示す。

$R^1$ ：水素原子またはメチル基。

$R^2$ ：低級アルキル基。

$R^f$ ：炭素数3~20のポリフルオロアルキル基。

## 【化3】



## 【請求項4】

請求項3に記載の含フッ素重合体からなる撥水撥油剤。

## 【請求項5】

請求項4に記載の含フッ素重合体および媒体を必須成分とする撥水撥油剤組成物。